

平成26年10月31日
中部地方整備局

お知らせ

伊勢湾再生を願う64団体が伊勢湾流域圏161箇所で一斉調査！

～平成26年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの結果について～

- 1. 概要** : 伊勢湾再生推進会議（行政14機関にて構成、別紙-1参照）では、伊勢湾再生行動計画の一環として、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を行っています。今年の夏に実施された調査の結果について、9月30日現在の集計分をとりまとめましたのでお知らせします。

- 調査期間：平成26年7月25日（金）～8月31日（日）
- 参加者及び調査地点（9月30日現在、[]は昨年度）
 - 参加者：学校、個人、市民団体、民間企業など64団体[74団体]
 - 調査地点：伊勢湾の海域33地点[33地点]
伊勢湾に流れ込む河川等128地点[158地点]
- 調査内容：水質（パックテスト等）、ゴミ、水生生物
- 調査結果：1. 今年度は64団体に参加いただきました。
2. 企業からの参加が過去最多（9団体）となりました。
3. 6年間続けて参加いただいている団体は10団体です。
4. ゴミ調査と水生生物調査の参加団体が、19団体に倍増しました[昨年度は8団体]。
5. 今年度は「水のきれいさ」について感覚的な評価もしていただきました。
6. 市街地の中小河川や支川に、有機物による水の汚れを示すCODの観測値が高い地点がありました。
7. ペットボトル、空き缶、カップめんなどのゴミが各地で確認されました。

このように、水質、生物の生息状況を継続的に調査することで伊勢湾流域圏における水環境の状態を把握するとともに、多くの皆様に伊勢湾に関心を持っていただき、伊勢湾再生への意識を高めることができました。

伊勢湾再生推進会議では、引き続き、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとして、伊勢湾再生行動計画に基づき伊勢湾再生に取り組んでいきます。

- 2. 資料** : 平成26年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果の概要（別紙-2）

※今回行った一斉モニタリング結果の詳細は、下記 URL からダウンロードしていただけます。

http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/sai_ise/b_issei.htm

3. 配付先 : 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先 : 伊勢湾再生推進会議事務局
国土交通省 中部地方整備局
港湾空港部 海洋環境・技術課
課長補佐 渡邊 弘 TEL : 052-651-6470



伊勢湾再生推進会議の構成機関

国土交通省 中部地方整備局
海上保安庁 第四管区海上保安本部
内閣府 内閣官房 地域活性化統合事務局
農林水産省 東海農政局
林野庁 中部森林管理局
水産庁 漁港漁場整備部
経済産業省 中部経済産業局
環境省 中部地方環境事務所
岐阜県
愛知県
三重県
名古屋市
名古屋港管理組合
四日市港管理組合

平成 26 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果の概要

-簡易水質テスト・ゴミ・水生生物調査結果-

1. モニタリングの目的

水質、生物の生息状況を継続的に調査することで伊勢湾流域圏全体における水環境の状態を把握するとともに、多くの皆様から伊勢湾に関心を持っていただき、伊勢湾再生への意識を高めることを目的としています。

2. モニタリングの実施内容

今回の一斉モニタリングでは、簡易に水質テストが行える調査キットを活用して、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に、伊勢湾の海域（33 地点）や伊勢湾に流れ込む河川の集水域（128 地点）で、学校、個人・市民団体、民間企業など、64 団体の参加により水質等の一斉調査を実施しました。（調査地点数、団体数は平成 26 年 9 月 30 日現在の集計値）

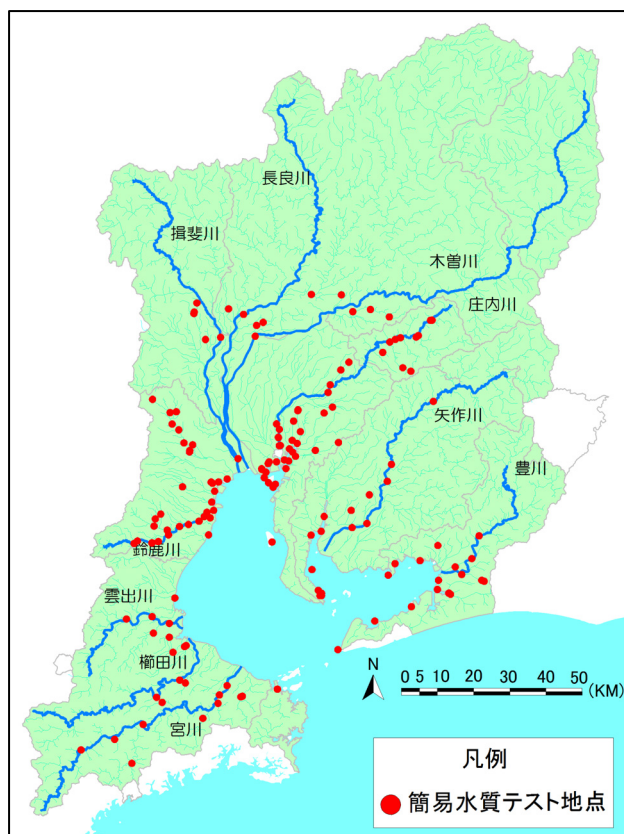
なお今回お知らせするのは、主に市民の方々が行った「簡易水質テスト・ゴミ・水生生物調査」の結果をまとめたものです。今後は、自治体が行った水質調査結果も含めて報告書にとりまとめ、公表する予定です。

(1) モニタリング期間

平成 26 年 7 月 25 日（金）～8 月 31 日（日）

(2) モニタリング調査項目

水質（COD、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、りん酸態りん）、ゴミ、水生生物



平成26年度の一斉モニタリング(簡易水質テスト)調査地点

3. 調査結果

●簡易水質テスト

パケットテストという調査キットで、伊勢湾や伊勢湾に流れ込む河川の水質を調べました。調査結果のうち、CODとリン酸態リンの分布は、次のようになりました。

COD（化学的酸素要求量）



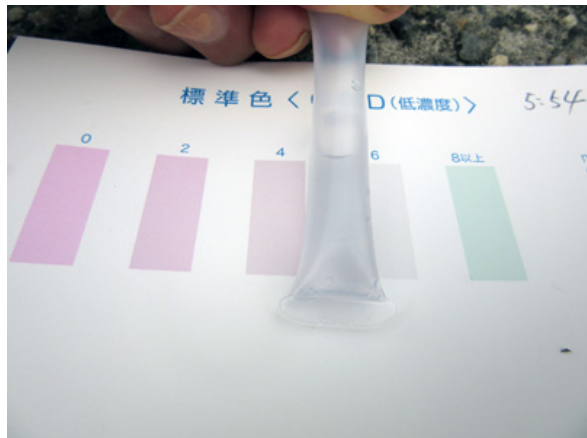
リン酸態リン (PO₄³⁻-P)



COD は、湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。庄内川等の市街地を流れる河川や、堀川、員弁川等の中小河川や支川において、5mg/L 以上の高い値が観測されています。生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

リン酸態リン (PO₄³⁻-P) は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素で、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。

庄内川等の市街地を流れる河川や、員弁川等の中小河川や支川において、0.11mg/L 以上の高い値が観測されています。生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

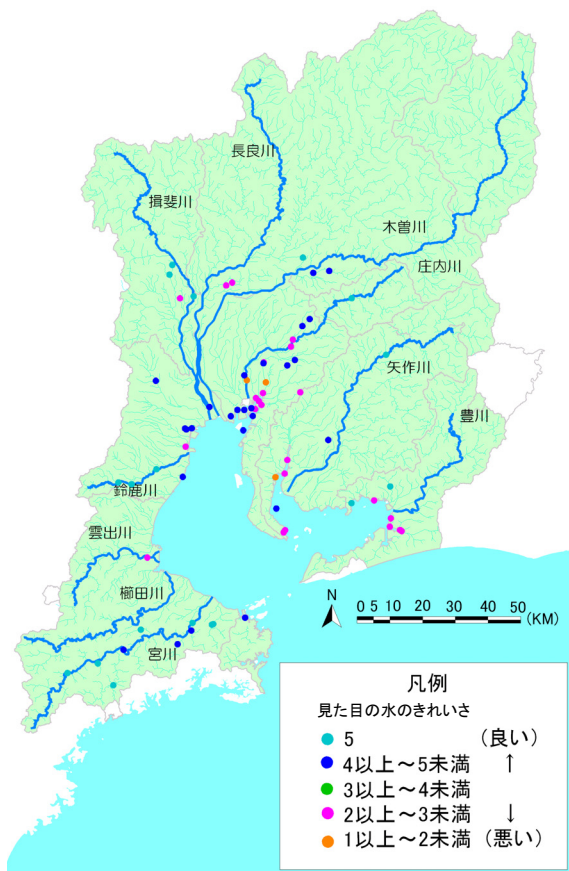


調査キット（パケットテスト）による水質調査の状況

● 「水のきれいさ」の感覚的な評価

調査した方に「水のきれいさ」を、見た目で、5段階評価していただきました。

水のきれいさ



評価は、(悪い 1・2・3・4・5 良い) の5段階でしていただきました。この結果は、調査した方が感じた調査地点の水の印象の示標と考えられます。

庄内川や名古屋港の区域で4以上の比較的水がきれいという評価がされており、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

ただし、同じ名古屋港でも湾奥では2程度の比較的悪い結果となっています。二級河川や支川においても、1~2程度の比較的悪い結果が多くなっています。

● ごみ調査・水生生物調査

ごみの漂着状況や水生生物の生息状況についても、調査が行われました。



ゴミの漂着状況



川での生物観察の状況

4. モニタリング詳細情報

一斉モニタリング結果の詳細は、以下のURLよりご覧になれます。

http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/sai_ise/b_isei.htm